

幻想的な巨大地下空間大谷資料館と大谷石文化を訪ねる

称名寺東公園⇒道の駅みかも⇒聖ヨハネ教会⇒

宇都宮（食事）⇒大谷資料館⇒大谷寺⇒平和観音

バス旅行は、コロナ感染拡大で中止が続き3年半ぶりとなりました。
当日はあいにくの雨模様でしたが、32名が参加して朝7時に出発しました。
コースの関係で、最初の立ち寄り先は道の駅での買い物となりました。



聖ヨハネ教会は、外壁に大谷石を張ったゴシック風の建物で重厚ですが、大谷石の風合いから柔らかさも感じます。大谷石は西柴団地の住宅にも多く使われています。

旅先での楽しみの一つは食事です。
今回は日本料理です。
天ぷら、茶わん蒸しは熱々を提供してくださり美味しく頂きました。
大広間でゆったりと食事ができ、大満足でした。
中には「お酒があったら、もっとよかった。」との声もありました。





かつては大谷石採掘場だった大谷石資料館です。館内の年間平均気温は7度ということで、しっかり防寒対策をおこない地下に入り説明を受けました。そこはまさに幻想的な世界が広がっていました。帰りは上りの階段です。ゆっくりでしたが、全員自分の足で地上に戻りました。



最後は大谷寺で大谷石の仏像を拝観しました。

ここは洞穴寺院で岩壁に仏像が彫られており、風化が進んだ仏像のお姿は柔らかく思わず手を合わせました。お隣の平和観音を訪ねた時には、傘はいりませんでした。

高さ 27 メートルの観音様は昭和 20 年代に大谷石の一枚岩を彫って造られたそうです



18時半ごろ称名寺東公園に到着、こうして充実した長い一日は終わりました。